

アスイクの学習支援

「がんばるはー」。今年二月、寒さが身に染みる十九時ごろ。暖房の効いた宮城野区扇町一丁目公園仮設住宅の集会所に、子どもたちが元気に挨拶をして入っていきます。ランドセルやかばんを下ろし、いつものテーブルに教科書やノートを広げま



開始時間を待ちきれずやって来た子との、和やかな語らいのひととき

す。

「宿題持ってきた?」「うん!」。子どもたちの隣や向かいに大学生や社会人が腰かけ、楽しそうに話し始めました。仙台市のNPO法人アスイクが、毎週市内の仮設住宅などで行っている学習支援の時間です。

「明日のために、子どもたちに『教育』を」。震災後、そんな思いから生まれたアスイク。避難所での学習支援からスタートし、被災された方々の生活場所がプレハブ仮設住宅や借り上げ民間賃貸住宅へ移った後も、長期的な支援を目指して活動を続けてきました。

現在は、仮設住宅での学習支援のほか、eラーニングを活用した教室を被災三県を含めて十七カ所に設けるなど、経済的事情で学ぶ機会や社会とのつながりを失っている子どもへの学習支援にも力を入れていま



仮設住宅の集会所を広く使い、子どもたちはサポーターと意思的に勉強に励みます

東日本大震災から丸三年。今、さまざまなかたちで支援を続けている方々がいま。支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。被災地で取材を続ける情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

では、毎週水曜日、五人のサポーターが七人の子どもたちと勉強に取り組んでいます。子どもたちは、上は高校一年生から下は小学三年生まで年齢も性別もさまざま。宿題を持ってくる子もいれば、英検の勉強をする子もいます。

「ねえねえ、さきちゃん。ここ教えて!」これはね、小数点の位を変えてね……。さきちゃんと呼ばれたのは、一年半前からこの仮設住宅でサポーターとして学習支援を続けている、宮城教育大学二年の大竹沙希さん。宿題のドリルを解く五年生と六年生の女の子に、解き方のコツをア

ドバイスします。「うまく伝えられないこともあります。うまくも楽しく勉強しています」。大竹さんは目を細めます。子どもたちが「先生」ではなく親しげに名前と呼ぶ様子は、心の距離の近さを感じさせました。

を感じさせました。

十九時から二十時までの学習時間は、勉強をするだけではありません。学校の話、好きなスポーツの話、将来の話。たくさん言葉を紡ぎながら、さらさらと話をする子どもたちの表情に、サポーターも思わず笑みがこぼれます。

ドリルを解いていると、「さきちゃん、さきちゃん」と、大竹さんをおぼろがしました。「どうしたの?」「これね、友だちがお土産でくれたの!」「バレンタインにチョコつくったんだよ!」「へえーそうなんだ!」。大竹さんは、ひとつひとつの言葉に、丁寧に応えていきます。



英語の試験勉強に熱が入ります



一生懸命に問題を解く子に、温かいまなざしを注ぐサポーター

「いろんな会話や交流を通じて、ひとりひとりを尊重した、その子たちの自己表現の場をつくりたい」。同仮設住宅での学習支援・現場リーダーを務める、宮城教育大学二年の武石墨さんは話します。「子どもたちがこれからのしっかり生きていくサポーターができればと考えています」。

一年半前に、大竹さんと一緒にアスイクのサポーターとなった武石さん。大学入学当初から、被災地のために、何か役に立てることができないかと、考えを巡らせていたそうです。そんなとき、アスイクの活動に携わっていた友人に紹介され、その

活動理念に共感し、参加を決めました。

現場のリーダーを任されるようになったのは、サポーターになってまだ一ヵ月足らずのころだったといいます。不安もある中、一回一回の学習支援の積み重ねによって、子どもたちや活動を共にするほかのサポーターとの関係を深めていきました。

そんな結び付きの強さを支えるのが、振り返りの時間です。振り返りは、その日の学習支援が終わったすぐ後に行われ、子どもたちの様子について、サポーター同士がじっくりと話し合います。子どもたちに寄り添い、思いやる心を、サポーター全員で共有する大切なひとときです。

ひとりひとりに気を配るからこそ、子どもたちから学ぶことも少なくありません。「向き合う大切さを学ばせてもらいましたね。初めて『楽しい』と言われたときは、本当にうれしかったです」と、頬を緩める武石さん。

「最初はすごく緊張して入ってきた子も、しばらくすると皆との会話に打ち解け、いろんな表情を見せてくれるようになるんです」。穏やかで、あたたかい時が流れるアスイ

学習支援日程（場所は全て仮設住宅）

● JR南小泉アパート	毎週月曜	18:30~19:30
● 仙台港背後地6号公園	毎週火曜	19:00~20:00
● 鶴巻1丁目東公園	毎週水曜	19:00~20:00
● 扇町1丁目公園	毎週水曜	19:00~20:00
● 荒井小学校用地	毎週木曜	19:00~20:00
● 卸町5丁目公園	毎週金曜	19:00~20:00

アスイクの学習支援に参加したい方は、事務局までご連絡。見学は自由です。

NPO法人アスイク事務局

所在地：宮城野区榴岡5-3-21コーポ小松101
電話番号：022-781-5576 e-mail：info@asuiku.org
代表理事：大橋雄介



学習時間の合間、生徒の話に熱心に耳を傾ける武石さん

クの学習支援。学校の勉強だけでなく、友だちやサポーターとの心の触れ合いもまた、子どもたちの成長の一助になっています。